

◆ 議長記者会見概要

日時：令和3年6月18日（金）15：00～15：15

場所：記者会見場（県庁5階）

出席者：山本進章議長、乾浩之副議長、奥山博康広報委員会座長



乾副議長

山本議長

奥山広報委員会座長

<案件>

1年間の振り返り

○山本議長

議長就任後の1年間は本当にあっという間でしたが、皆さんもご承知のとおり、あらゆるイベント、会議、東京への出張や国際的な会合も全部なくなってしまったため、コロナ一色の1年でした。1年を振り返って私が東京に行ったのは1回だけです。全国都道府県議会議長会副会長として、加藤官房長官に、コロナ対策等を要望しました。

コロナ対策の中でも印象に残るのは、令和2年4月に設置し、先ほど18回目を終えた奈良県議会新型コロナウイルス感染症対策会議です。会議の内容は随時、報道発表しているとおりで、現在、新規感染者の発生は低い水準となっていますが、行政でもしっかりと予算編成されています。一方、議会としては、2月定例会開会日に「医療従事者をはじめ社会を支える全ての方々に敬意と感謝を表明するとともに差別や偏見等の根絶を目指す決議」と「新型コロナウイルスのワクチン接種に関する迅速な情報提供等を求める意見書」を全会一致で可決しました。

医療従事者の皆さまには本当に感謝を申し上げたい。この場をお借りして、改めて感謝の意を表したいと思います。

また、議会棟への入館時の検温やマスク着用、議席へのアクリル板設置、傍聴者の間隔を確保するための人数の制限など、あらゆる感染対策を講じる等の危機管理にも努めてまいりました。

一方、議会改革に関する取組としては、議会の ICT 化推進の一環として本会議場へのタブレット端末の持ち込みができるように関係規程を改正し、2月定例会から導入しています。

さらに、開かれた議会として、若草山焼の鑑賞のための正副議長室の開放や、2月定例会開会日には県立高田高等学校音楽科の3年生と卒業生の演奏による議場コンサートを開催しました。

最後になりますが、今年1月には「奈良県議会スポーツ特別功労賞」を天理大学ラグビー部に授与しました。同大学は第57回全国大学ラグビーフットボール選手権大会で、1925年の創部以来初めて優勝しました。特別功労賞の授与は大相撲令和2年1月場所で初優勝した「徳勝龍」氏に続き2例目になり、大変記念に残る事柄でした。

今後、今回の議長経験を活かし、残る議員任期2年、県民の皆さまから選ばれた議員として、責務を自覚し、役割を果たすことができるよう一層努力してまいります。

1年間皆さまには大変お世話になり、本当にありがとうございました。今後とも、引き続きよろしくお願い申し上げます。

○乾副議長

1年を振り返ると、先ほど議長もおっしゃったように、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、公式行事に参加する機会が例年よりもかなり少ない1年でした。その中で、副議長として、議長を一生懸命支えてまいりました。

議会においても、新型コロナウイルス感染症対策会議を開催して知事部局と議論を重ね、県民を代表して知事に直接要望を行うなど、コロナ対策を進めてまいりました。

飲食店等に市町村が時短要請され、協力金等を支払われる場合に、県も同額の上乗せ支援することになったのは、議長とともに荒井知事と面談し、その内容を理解していただいたことによるものだと私は思っています。また、様々な行事もあり、奈良県戦没者追悼式、国道168号五條新宮道路風屋川津・宇宮原工区の起工式、奈良県市町村政策自慢大会等に出席しました。市町村の職員が考えた、若い力で様々なまちづくりをしていきたいという市町村政策自慢大会は素晴らしかったです。総評する審査員を務めさせていただいたのは大きな私の思い出です。

また、議会の ICT 化についても進めており、これからも取り組んでいかねばならないひとつの課題と思っています。

この1年間、副議長として、県民の皆さまに理解していただける動きができていたのか

分かりませんが、頑張らせていただきました。これを契機に奈良県のためにさらに頑張っ
てまいります。ありがとうございました。

○奥山広報委員会座長

議会の場合、議会運営委員長が広報委員会座長を兼任しており、今日は広報委員会座長
という立場で、記者会見に臨んでいます。

まず、コロナ一色でこの1年間を過ごしましたが、私は議会運営委員長として、連日議
会に来て、感染症対策についての様々な打合せをしたことで、議会が本当に円滑に進んだ
と思いますので、この場で皆さまにご披露したい。

議会や委員会を円滑に開催し、安心安全で、活発に議論を行うことをモットーとするな
らば、まず感染対策を完璧にしないといけないと考え、議長、副議長の寛大なお気持ちの
もと、議会棟での様々な対策を発案し、支援していただいて、実現に結びつきました。

また、県職員が議会棟と県庁を行き来することもあるため、県庁の入口にも体温感知器
をぜひとも設置してもらえないかと知事に提案したところ、良案であると快諾いただきま
した。これらの感染症対策を行いながら、議会運営や議員活動をこれまで円滑に行うこと
ができていたのも山本議長、乾副議長のおかげです。

また、広報委員会座長としては、議会が様々な感染症対策を行って6月定例会を無事に
開催できていることをいかに県民の皆様にご知っていただくかということをご協議するた
め、今朝も広報委員会を開催したところです。議会の概要に加え、感染症対策についても掲載
した県議会だよりを8月に発行します。

メディアの方にも大変お世話になりましたが、議会が円滑に進むことは山本議長、乾副
議長の寛大な気持ちがあったからです。私も一議員としてこれからも奈良県議会、奈良県
民のためにしっかりと活動できるようにがんばりますので今後ともよろしくお願いま
す。ありがとうございました。

<質 疑>

Q：この一年間でやり残した課題はありますか。

議長：新型コロナウイルス感染症対策に関しては、やり残した課題はありません。飲食店
への時短営業の要請の問題等について、知事と共鳴する部分があったので、円滑に調整が
進みました。本日開催された新型コロナウイルス感染症対策会議でも説明を受けましたが、
ワクチン接種も職域接種も含めて進められています。ワクチン接種の効果はすぐに出ませ
んが、7月中の高齢者への接種完了に向けた動きもどんどん進んでいますので、ワクチン
接種が進めば、コロナの収束が近づくのではという期待を込めています。

Q：この一年間で印象深かったことや、議長、副議長でお互いに支えあった部分を教えてください。

議長：奈良テレビに出演して、議会改革に取り組んでいくことなどをお話しさせてもらったことが印象に残っています。また、政策云々もありますが、私と乾副議長、奥山議会運営委員長による三位一体は自負するわけではありませんが、過去最強最大の3人であったのではないかとも思っています。

副議長：山本議長と奥山議会運営委員長とは日頃からいろいろな形でお付き合いさせていただいてますが、奈良県の代表として三位一体で様々な行事にも参加しました。これまでは議長しか出席できない行事もあったのですが、山本議長に「副議長もちょっと顔を出したら」と言っていただいて、議長とともに座って様々な話も聞かせていただきました。選抜高等学校野球大会出場校の表敬訪問等に、言い方は悪くなりますが引っ張り出していただいて、一緒に奈良県のためにがんばっていこうと力強い言葉をかけさせていただきました。今後生きていくにあたって、議会の中でいろいろ勉強しなさいよということを改めて教えていただいた議長でした。ありがとうございました。

(終了)